日本語の連語論研究

　A Study of the Japanese A Study of the Japanese

連語 太郎

RENGO Taro

要旨　連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究連語論研究。

キーワード：連語　連語　連語　連語　連語

目次

1.　はじめに

2.　『日本語文法・連語論（資料編）』

3.　奥田論文

4.　名詞連語

5.　おわりに

1.　はじめに

連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは連語とは。

2.　『日本語文法・連語論（資料編）』

　連語について　連語について連語について連語について連語について連語について連語について連語について連語について連語について連語について連語について連語について　連語について連語について連語について連語について連語について連語について[[1]](#endnote-1))連語について連語について連語について連語について。(文中の注番号をゴシック11ポイントにする)

2.1　ヲ格の名詞と動詞とのくみあわせ

ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動ヲ格の名詞と動詞からなる連語ヲ格の名詞と動。

2.2　ニ格の名詞と動詞とのくみあわせ

ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語[[2]](#endnote-2))ニ格の名詞と動詞からなる連語ニ格の名詞と動詞からなる連語。

3. 奥田論文

　奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文奥田のヲ格論文。

4.　名詞連語

前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ前節までの考察をふまえ。

5.　おわりに

本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、本稿では、以上、以上、～。

注(10ポイント)

)連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語　の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴連語の特徴。

2)くみあわせのくみあわせのくみあわせのくみあわせのくみあわせのくみあわせくみあわせのくみあわせの。

参考文献(10ポイント)

言語学研究会（編）（1983）『日本語文法・連語論（資料編）』むぎ書房．

国立国語研究所（宮島達夫）（1972）「第3部の1.動詞の意味と文法的性質」『動詞の意味・用法の記述的研究』（国立国語研究所報告43）、秀英出版:665-708．

鈴木康之（1983）「連語とはなにか」『教育国語』73、むぎ書房:30-43．

仁田義雄（1985）「言語学研究会編『日本語文法・連語論（資料編）』を読んで」『国語学』140、国語学会:44-50．

宮島達夫（1994）『語彙論研究』むぎ書房．

1. [↑](#endnote-ref-1)
2. [↑](#endnote-ref-2)